

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	百貨店（販売促進担当）	・来店促進につながる催しやイベントを計画しており、その効果が出てくる。
		乗用車販売店（従業員）	・自動車に関する税金や高速道路料金が安くなれば、自動車購入への意識も少しは変化が見られる。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・2月は1年中で一番、売上、来店数の悪い月である。2～3か月先は、当然良くなっていく。
		旅行代理店（従業員）	・季節的にも、2月は一番厳しい時期である。5～6月になれば旅行シーズンも到来し、また業務出張も復活していると予想している。
	変わらない	スーパー（店長）	・食品も前年後半から値下げの流れになり、家庭での内食傾向はこのまま続くと感じる。
		スーパー（企画担当）	・定額給付金を含む予算が可決される見通しもあり、世帯あたりに2～4万円が臨時収入として入る。これが利用されるか、貯蓄されるかで経済に与える影響が変わる。給付金に合わせた商品セール等を仕掛けることで、少しでも経済の活性化を進めたい。
		衣料品専門店（経営者）	・3月になれば、主力は春物商品に変わって、単価は定価販売になるため、多少の販売数量減はあると思う。しかし、今の春物の売行きからすれば、どうにか前年ぐらいの数量はいくのではないかと感じている。
		家電量販店（営業担当）	・新入学・新社会人の出足が悪く、例年並みの需要にはほど遠いように思う。現状維持で辛抱の期間は当面続きそうである。
		乗用車販売店（従業員）	・自動車減税がいつ実行されるかわからない。不況から脱する要因が見当たらず、しばらくの間、悪いまま変わらない。
		観光型旅館（経営者）	・2月は非常に悪いので、この状態が続くということで、これより2か月先ぐらいは、2月よりは悪くはならないと思っている。
		タクシー運転手	・2～3か月先は、通常であれば異動等で歓迎会・送別会等があるが、客との会話の内容や今の本県、本市の動向からすれば、現在の悪い状態、やや悪くなった状態がそのまま継続する。
		タクシー運転手	・お遍路の仕事が、景気が悪いなりにあるものの、町自体が非常に悪いので、全体では変わらない。早く景気が良くなって、売上が上昇するようになってほしいが、現状では難しいだろう。
通信会社（支店長）		・個人消費、企業収益また生産面においても減少傾向にあり、景気は今後も変化がみられない。	
通信会社（管理担当）		・当面、景気回復が見込めないことに加え、通信市場の飽和により新規需要が縮小傾向にある。	
設計事務所（所長）		・マンションや住宅用地分譲の新規物件が少なく、在庫調整に入っているようである。	
住宅販売会社（従業員）		・今までの買い控えに対してプラスになる要因はないので、現在の状態、客の様子が続くと考えている。	
やや悪くなる	商店街（代表者）	・ここへ来て、かなり底ばい状態だったのが、一段と底が割れたような傾向になっている。消費者マインドが暗くなる、低下する話題ばかりで、明るい話題が全くない。かなり消費者の財布のひもは固くなる。	
	商店街（代表者）	・悪循環は簡単には改善されない。	
	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・新年度になり県公共事業も若干発注がありそうだが、市全体が景気がよくなるというほどのものにはならない。市内の企業でまだまだ倒産する企業のうわさ等を聞くにつけ、やや悪くなっていく。	
	一般小売店〔乾物〕（店員）	・今でも十分悪いので、これから更に落ちていくとは思わないが、鍋底状態だと思う。	
	百貨店（営業担当）	・先行きは全く不透明であるが、傾向として更に買物をする人が減ってくる。ここへ来て急激に減っており、この傾向はまだ続く。	
	百貨店（営業担当）	・客単価については落ち込みが少ないが、来客減少及び高額商品の動きが鈍い。ファッション商品は当用買いしか見られない。	
	スーパー（店長）	・今、製造業を中心に、非常にリストラが進んでいる。食品業界は、急には悪くならないと思うが、徐々に景気が悪くなっていく。	

	スーパー（統括担当）	・本県の場合、特に人員整理、首切り等は発生していないが、全国の状況を見て支出を控えている。
	コンビニ（総務）	・悪化した経済状況の先行きが見えないなかで、消費者は一層買い控えをし、生活に必要な最小限の品のみ購入していく。
	衣料品専門店（経営者）	・以前より近隣商店街でも空き店舗化が進んでいたが、最近特に顕著である。来店数減少、消費者の低価格志向は強まる一方で、事業継続の体力勝負が当分続く。
	家電量販店（店長）	・客が高額商品を買って控えている状況が続いている。今後もその状況が続く。全体の売上を牽引していく商品がなく、テレビも伸びず、パソコンも単価の下落によって前年を割っている状況である。このまま今後も景気はやや減退する。
	一般レストラン（経営者）	・知人の話では、安価でポイントが貯まることから、酒は電気製品量販店で買っているとのことである。節約できるところはしており、大勢の人が飲食を楽しむような状況にはない。
	一般レストラン（経営者）	・為替変動などから単価の下落がはじまり、買上点数の上昇も見込めないことから、厳しい情勢になる。
	都市型ホテル（経営者）	・現在の予約が芳しくない。新聞・テレビが、毎日景気が悪いと報道され、消費者マインドは冷え込んできており、外出すること自体が減ってきている。
	タクシー運転手	・現在の社会情勢から見てもすごく不安である。世界的不況の中でも景気の良い企業はあるが、サービス業は一般社会が元気でなければ利用客は増加しない。
	通信会社（総務担当）	・年度末は例年悪くなるが、今年は更に良くない。
	観光名所（職員）	・社会情勢がかなりひっ迫しており、国会も不安定なため、良くなるとは思えない。
悪くなる	商店街（代表者）	・現在の経済情勢、周辺事項、テレビ・ラジオ等による報道、すべての面で政府の動きが国民の方へ向いていないために、その影響が消費者に大きく出ている。
	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・当店が酒屋の宅配機能を活かせると注力している、清酒メーカー各社の新酒頒布会の受注状況が見込み以上に悪い。料飲街の市況は最悪だが、宅配も悪いと酒屋の生き残る道がなくなる。
	百貨店（売場担当）	・今後倒産は増加し、生き残る企業も人員整理や経費圧縮を余儀なくされる。消費者の購買心理は抑制へと働き、売上の減少が予想される。
	スーパー（店長）	・全国と同じように、工場の休止等々が発生し始め、本県でも数百名単位の派遣切りが行われている。そのような状況なので、今後、景気は本県でも更に悪くなっていく。
	スーパー（店長）	・このまま放っておくと、大不況はますます深刻になる。高品質・低価格の商品でないと売れなくなり、いい物は高いというのは、通用しなくなる。1日中、スーパーの中で、何をしてもなく、ブラブラと過ごして行く人が増えた。仕事がないのではないかと思われる。そういう人が増えてくると、ますます景気の上昇は見込めない。
	スーパー（財務担当）	・世界経済の情報、国内経済の情報、いずれも最悪であり、特に雇用に関する情報が景気を更に萎縮させている。今年半ばに向けてもっと悪くなる。
	衣料品専門店（経営者）	・メディア等で不況ということを連日伝えているため、買い控えが起きている。
	乗用車販売店（従業員）	・3月決算が過ぎてからのことは、どの項目を見ても自動車業界にとっては逆風になり、販売が良くなるとは思えない。
	乗用車販売店（営業担当）	・平成21年度施行予定の自動車関連税制改正の審議が重なり、今が底なのか、今以上に悪くなるのか、2～3月の最需期にこのような状況では先行き不透明であり、雇用状況が急に良くなるとは思えない。
	住関連専門店（経営者）	・当社は大型商品を販売しているので、ムード的に景気が悪いと聞くと、大型商品の購入は抑えることになるので、なかなか厳しい。
	美容室（経営者）	・一時的に3～4月の入学など行事で動きがみられると思うが、不景気感が払拭されない限り、一時的なものに終わり再び4月以降悪くなる。
	設計事務所（職員）	・とにかく、仕事量が急減しており、新年度になっても好転の材料やその兆しもなく、一段と悪くなる。
	企業 動向 関連	良くなる
やや良くなる		-
変わらない		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）

		電気機械器具製造業（経営者）	・消費回復の兆しがみられない。
		建設業（経営者）	・明るい材料が全然見当たらない。
		建設業（総務担当）	・鉄鋼製品をはじめとし、資材価格は下落傾向にあり、調達コストの低減が見込まれるが、そのため受注価格の引き下げ要請が厳しくなり、収支改善には至らない。
		通信業（営業担当）	・各企業も売上げアップの施策、国・県・市も景気を上向ける各種対策を行っているが、インパクトの強い、効果が大きい物がここ数カ月で出ると思えない。これほど個人消費が冷え込み、消費に対する防衛意識が定着した今、景気回復にはもう少し時間が必要である。今年の夏以降、秋、年度末まで掛かるとの話をよく聞かし、私自身もそう実感している。
		通信業（部長）	・低価格品への志向は依然強いものの、一部ユーザには新規商品（高額商品）に対する支持も見える。個人の財布の余裕度に差があるためかもしれないが、総じて購買には慎重である。夏商戦に向けて提供される新商品の発売時期まで、この傾向は継続される。
		広告代理店（経営者）	・客の動向に大きな変化がなく、状況が好転する要素もあまり見えない。
	やや悪くなる	輸送業（社員）	・まだまだ底が見えない経済状況下、製紙業界においては先行き展望の見通しが立たない状況であり、取扱数量も毎月減少傾向が続いている。また、自動車関連企業の出荷調整も継続されており、輸出数量も同様に減少している。
		不動産業（経営者）	・取引先や客の動向は非常に悪くなっている。取引先からは、広告を打っても土地が全然動かないということを知っている。また、年度末に掛けて、同業者の倒産などいろいろな悪い情報や現象が起こる可能性があるといわれている。
		広告代理店（経営者）	・現在も幅広い分野の得意先広告費が削減されているが、新年度4月以降は、一部の得意先から更に新聞・テレビ等マスメディアのレギュラー契約削減の厳しい話が出ている。
	悪くなる	繊維工業（経営者）	・特に資金力に乏しい企業、借入れで先行投資をした小売店については倒産、廃業も散見され、ますます環境悪化が予想される。当社としても販売先の与信の問題があり、積極的な売込みが難しいところもあり、しばらくは慎重な販売活動を余儀なくされる。
		鉄鋼業（総務・人事統括）	・親密先等との情報交換の中で、雇用調整助成金が話題の中心となってきた。各社とも雇用面の対策に本格的に取り組んできていることから雇用情勢はいつそう悪化すると思われる。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・設備投資の見送りや工事の縮小が顕在化しており、ユーザーマインドは更に悪化する。年度末に向け新規商談どころか手持ちの商談が消えていくことが心配される。
		電気機械器具製造業（経営者）	・環境関連の仕事をしている。話はたくさんあり、来訪者や問い合わせも多いが実績として、なかなか結びつかない。大変興味はあるが、経費削減でそこまでいかない。かなり先から契約を結んで受注をしなければならぬが、最近、契約が結ばず、受注までに至っていない。大変厳しい状況である。
		輸送業（支店長）	・しばらくは、減産に拍車がかかりそうで、物量は減少傾向となる。業界の希望する以前の燃料価格までにはなっていないが、同業数社の話では、取引荷主から物流費の見直し要請も出てきた。
		公認会計士	・各関与先の社長との話では、将来を非常に心配しており、また急激に資金繰りが悪化しているとのことである。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	求人情報誌製作会社（従業員）	・例年3～4月は求人数が増える時期であり、少しは動きがあると思われる。
	変わらない	-	-
	やや悪くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・3月末の決算を迎え、中途採用市場は年間で一番活性化する時期だが、今年の「即戦力、キーマン」採用市場は、非常に低調なものになりそうである。
		職業安定所（職員）	・先月に引き続き、雇用調整助成金、特に休業の相談や実施計画届けが増加している。当面、こうした動きが続く。
		職業安定所（職員）	・県・市町村の緊急雇用対策求人相当数出るとの予定であり、就職件数や求人倍率が改善されることが予想されているが、正社員等の安定的雇用ではないため、心理面での景気高揚感にはつながりにくい。
	悪くなる	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・製造業の少ない本県では、従業員の契約切りがあまり表に出てないが、確実に失業者が出て来ている。雇用が安定しない限り、景気を論じるレベルではありえない。

	職業安定所（職員）	・生産調整から雇用調整へと移行が始まり、他への波及が懸念される。
	民間職業紹介機関（所長）	・直近の求職登録に至るケースは、業績悪化による解雇や会社への将来不安、3月末での派遣契約終了等を理由とするものが非常に増えてきており、この傾向が当面続く。